

町田市【Future Park Lab】共同研究 ～芹ヶ谷公園の魅力向上を目指したイベント企画運営～

Collaborative Research at Machida City' s Future Park Lab
～Event Planning and Management Aimed at Enhancing the Appeal of Serigaya Park～

佐藤 紫穂
指導教員 李 盛姫

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 ビジュアルコミュニケーション研究室

芹ヶ谷公園で行われるイベント「Future Park Lab」の一部を担当し、クリスマスシーズンならではのワークショップを行う。モノづくりの楽しさと共に子どもたちに自然について学んでもらう企画を提案し12月に実行する。

キーワード：町田市芹ヶ谷公園，自然と学ぶモノづくり体験，官学連携

1. 研究目的

芹ヶ谷公園では、「FutureParkLab」を中心としたイベントが公園の魅力を引き立てる一つの要素となっている。これらのイベントを通じて、公園の魅力をさらに高めることを目指す。また、FutureParkLabのコンセプトの一つである「モノづくり体験」を通じて、地域との学びと交流を大切にしている。手作りワークショップやアート制作など、体験型イベントを企画し、参加者が創造力を発揮しながら、地域とのつながりを深める機会を提供する。

2. 調査内容

2-1. FutureParkLab

イベントが開催される芹ヶ谷公園は、町田市に位置し、豊かな自然の中に彫刻が点在する「芸術の杜」をテーマとしている。この公園では、「パークミュージアムの姿をみんなで想像し、実際に創造してみる」をコンセプトにした市民参加型の実証実験イベント「FutureParkLab」が定期的で開催されている。事例としては、「芹ヶ谷公園でアートな動物園」。背景としては、町田市内の福祉施設であるクラフト工房との連携企画である。芹ヶ谷公園でより知ってほしい場所である小田急線側でシールラリーを行ってもらい、知ってもらうきっかけを作る。本研究室も、12月に行われる「FutureParkLab」で一部を担当する。

2-2. 現在の芹ヶ谷公園の課題

町田市文化振興課や公園緑地課との調査の結果、以下のような課題が浮き彫りになりになった。

- ・アートをより身近に感じてほしい

- ・広報活動を活発化
- ・緑の活用(自然をより身近に)
- ・冬の閑散期により公園に来てもらう
- ・来場者層の拡大
- ・居心地の良い公園
- ・小田急線側が閑散としている

2-3. 芹ヶ谷公園フィールド調査

芹ヶ谷公園には湧水や池などのせせらぎがあり、四季を通じてさまざまな変化を楽しむことができる。4月に公園を訪れた際には、緑が豊かで、奥に進むほど静かで落ち着いた雰囲気を感じられた。訪れていたのは小さな子どもから高齢者まで幅広い年齢層だが、10代の若者は少ない印象だった。また、公園の一角には国際版画美術館があり、「芸術の杜」をテーマにしたパークミュージアムの特徴が見られた。園内には多くの彫刻作品が展示されており、子どもから大人まで楽しめる施設となっていた。

3. コンセプト

「子どもたちが体験を通して地域と共に学ぶ」ことをコンセプトに、「芹ヶ谷公園ならではの自然物」と「クリスマス」と「モノづくり」を組み合わせたクリスマスリースのワークショップイベントを提案する。このワークショップでは、参加者が持ち帰り用の直径約15cmのリースと、公園に飾る大型リースを制作する。リースは松ぼっくりやドングリ、木の実などの自然素材を活用し、大型リースはみんなで協力して制作・展示する。クリスマスリースは「永遠の愛」や「繁栄」の象徴とされており、多くの人々が訪れるようお願いを込めて芹ヶ谷公園

に飾る。また、芹ヶ谷公園の木の実や葉を使ってリースを作る過程で、自然について学べるガイドブック『芹ヶ谷公園冬のリーフレット（仮称）』を提案する。これにより、子どもたちはリースの素材を選びながら、自然への理解を深めることができる。大型リースの制作では、みんなで協力して作り上げる喜びや達成感を共有し、協力する力を育むことができる。この活動を通じて、芹ヶ谷公園がみんなで創り上げる公園へと成長することを目指す。

4. 制作物

現在、試作を重ねた結果、持ち帰り用リースは直径15cmで決定し、本校文化祭（以下、育英祭）にて模擬イベントを実施予定である。15cmというサイズは、自宅に持ち帰って飾ることを想定している（図1）。リースのオーナメントには、公園にある木の実などを使用するため、秋口に公園で素材の採取を行う予定である。大型リースについては、直径1.5m程度を想定している（図2）。安全面を考慮し、土台は発泡スチロールで作成し、その上に枝や葉を巻き付けて重さを出し、風で飛ばないように工夫する。大型リースのオーナメントには、本研究と連携するイベントで使用するランプを取り入れる予定である。子どもたちには、この大型リースのオーナメントとなるランプを制作してもらい、全員で飾り付けを行う。展示の際にはリースを約45度の角度に傾け、イベント当日にはライトアップを行う。ライトアップ時には、子どもたちが制作したランプも一緒に点灯させる予定である。



図1. 持ち帰り用クリスマスリース（試作）

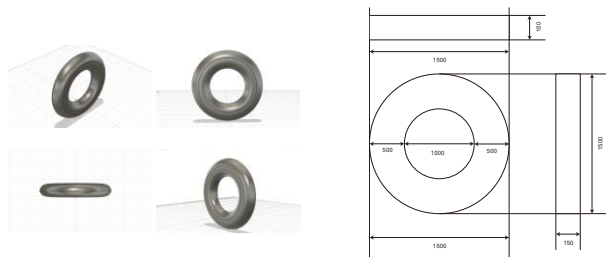


図2. 試作段階の大きなリース模型

5. コミュニケーションツール展開

コミュニケーションツールとして、ロゴマーク、紙袋、ガイドブックの制作を行う。ロゴマークは、本校と芹ヶ谷公園の共同プロジェクトを象徴するものとしてデザインする。このロゴマークを使用し、紙袋のデザイン展開を行う。イベント終了後、子どもたちがクリスマスリースを家に持ち帰り、袋から取り出すその瞬間まで楽しんでもらえるようなパッケージを用意する。ガイドブックは、芹ヶ谷公園の自然素材を紹介するミニ図鑑として制作し、子どもたちが読んでいる間に芹ヶ谷公園についてさらに知識を深められる内容にする。このガイドブックを通して、公園の自然や素材に触れ、さらに興味を持ってもらうことを目指す。

6. 今後の展開

育英祭の模擬イベントが終了次第、大型リースの大きさを再検討し、12月のイベントに向けて土台製作の発注を行う。また、大型リースに付けるランプの大きさやスケジュールも再調整する。育英祭ではアンケート調査を実施し、本番に向けて改善・ブラッシュアップを進める。さらに、リースを入れる袋やガイドブックなどのコミュニケーションツールについても試作し、12月のイベントまでに量産を完了させる。当日に向けては、イベントの進行をしっかりと確認し、ライトアップに必要な電力の確保や来場者の誘導など、事前に市の職員の方と打ち合わせを行う予定である。

参考文献

- [1] 町田サレジオ工業高等専門学校生様に向けた町田市芹ヶ谷公園芸術の杜パークミュージアのレクチャー資料(閲覧日 2024.4.20)
- [2] 町田市役所 文化振興課・公園緑地課 町田市国際版画美術館 <https://hanga-museum.jp/> (閲覧日 2024.4.20)
- [3] 町田市芹ヶ谷公園の基本情報 <https://www.city.machida.tokyo.jp/bunka/park/shisetu/serigaya/park02.html/> (閲覧日 2024.4.20)
- [4] 小田急のくらし広大な自然に癒やされたい時は大人も子どもも楽しめる「芹ヶ谷公園」へ！ <https://www.odakyulife.jp/entry/003513.htm/> (閲覧日 2024.4.20)
- [5] インスタグラム serigaya_park_museum (閲覧日 2024.8.13)
- [6] FutureParkLab2024年8月17日チラシ (閲覧日 2024.9.13)